



令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年7月31日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1976 URL http://www.meisei-kogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 有賀 健 TEL 06-6447-0275
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	10,490	△10.4	922	△24.0	1,011	△25.2	685	△24.0
31年3月期第1四半期	11,713	7.4	1,212	64.1	1,352	66.9	901	63.4

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 699百万円 (△18.9%) 31年3月期第1四半期 862百万円 (52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	13.13	—
31年3月期第1四半期	17.37	17.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	64,634	48,382	74.4	920.06
31年3月期	66,533	48,716	72.7	927.08

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 48,060百万円 31年3月期 48,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	△0.6	2,400	△26.3	2,500	△29.0	1,650	△30.7	31.61
通期	53,000	0.4	5,200	△28.5	5,350	△29.0	3,500	△30.9	67.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	59,386,718株	31年3月期	59,386,718株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	7,150,108株	31年3月期	7,179,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	52,227,633株	31年3月期1Q	51,917,403株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 受注、売上及び受注残の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需に支えられ緩やかな景気回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の深刻化、中国景気の減速による輸出停滞やコスト負担の増加等の不安定要素から、先行きの不透明感は一層強まってまいりました。

このような経済状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は、積極的な営業活動に努めましたが、国内外における大型受注案件の減少等により、11,306百万円（前年同期比30.6%減）の計上にとどまりました。売上高は、ボイラ事業の新設案件および建設工事業のメンテナンス関連が堅調に推移しましたが、前連結会計年度に大型工事が進捗・完工したこと等により、10,490百万円（同10.4%減）の計上となりました。

また、利益面につきましても、売上高の減少に伴い、営業利益は922百万円（前年同期比24.0%減）、経常利益は1,011百万円（同25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は685百万円（同24.0%減）の計上となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設工事業

国内メンテナンス関連工事は堅調に推移しましたが、国内外における大型工事が前連結会計年度中に進捗・完工したこと等により、売上高は9,377百万円（前年同期比12.0%減）の計上となりました。また、売上高の減少に伴い、セグメント利益は915百万円（同22.7%減）の計上となりました。

②ボイラ事業

新設案件が堅調に進捗し、売上高は1,113百万円（前年同期比5.5%増）の計上となりましたが、販売費及び一般管理費の増加に伴い、セグメント利益は4百万円（同43.9%減）の計上にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は43,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,881百万円減少いたしました。主な要因は未成工事支出金の増加1,473百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少3,275百万円、現金預金の減少152百万円であります。固定資産は21,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。主な要因は有形固定資産の増加12百万円、投資有価証券の減少47百万円であります。

この結果、資産合計は64,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,898百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,580百万円減少いたしました。主な要因は未成工事受入金金の増加854百万円、未払法人税等の減少1,047百万円、支払手形・工事未払金等の減少774百万円であります。固定負債は4,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。主な要因は役員株式給付引当金の増加7百万円であります。

この結果、負債合計は16,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,564百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は48,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円減少いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加685百万円、剰余金の配当による減少1,047百万円であります。

この結果、自己資本比率は74.4%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	20,862	20,710
受取手形・完成工事未収入金等	21,785	18,509
有価証券	300	300
未成工事支出金	1,347	2,820
商品及び製品	285	274
原材料及び貯蔵品	270	315
その他	275	315
貸倒引当金	△86	△86
流動資産合計	45,040	43,159
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,654	9,875
機械・運搬具	4,705	4,737
土地	11,160	11,160
その他	1,428	1,281
減価償却累計額	△11,676	△11,769
有形固定資産合計	15,272	15,285
無形固定資産	72	70
投資その他の資産		
投資有価証券	3,335	3,288
投資不動産	2,145	2,134
退職給付に係る資産	10	17
繰延税金資産	172	178
その他	519	537
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	6,146	6,118
固定資産合計	21,492	21,474
資産合計	66,533	64,634

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,175	6,401
買掛金	740	442
短期借入金	310	310
未払法人税等	1,357	310
未成工事受入金	1,342	2,196
賞与引当金	474	719
役員賞与引当金	80	—
完成工事補償引当金	48	51
工事損失引当金	—	3
その他	2,068	1,583
流動負債合計	13,598	12,017
固定負債		
長期借入金	710	710
退職給付に係る負債	636	618
役員退職慰労引当金	136	141
役員株式給付引当金	23	31
繰延税金負債	1,811	1,813
再評価に係る繰延税金負債	483	483
資産除去債務	16	16
その他	399	420
固定負債合計	4,218	4,234
負債合計	17,816	16,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	1,166	1,179
利益剰余金	40,914	40,552
自己株式	△2,574	△2,571
株主資本合計	46,396	46,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732	697
土地再評価差額金	958	958
為替換算調整勘定	355	395
退職給付に係る調整累計額	△43	△42
その他の包括利益累計額合計	2,003	2,010
新株予約権	1	—
非支配株主持分	315	321
純資産合計	48,716	48,382
負債純資産合計	66,533	64,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
完成工事高	11,713	10,490
完成工事原価	9,359	8,425
完成工事総利益	2,354	2,064
販売費及び一般管理費	1,141	1,142
営業利益	1,212	922
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	74	72
不動産賃貸料	55	58
為替差益	10	—
その他	29	11
営業外収益合計	184	155
営業外費用		
支払利息	5	1
不動産賃貸原価	34	36
為替差損	—	25
その他	4	2
営業外費用合計	44	65
経常利益	1,352	1,011
税金等調整前四半期純利益	1,352	1,011
法人税、住民税及び事業税	456	309
法人税等調整額	△16	10
法人税等合計	440	319
四半期純利益	912	692
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	901	685

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	912	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△34
為替換算調整勘定	△66	40
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	△49	7
四半期包括利益	862	699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	852	692
非支配株主に係る四半期包括利益	10	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	10,658	1,055	11,713	—	11,713
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	50	71	(71)	—
計	10,680	1,105	11,785	(71)	11,713
セグメント利益	1,184	8	1,192	20	1,212

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,377	1,113	10,490	—	10,490
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	48	76	(76)	—
計	9,404	1,162	10,566	(76)	10,490
セグメント利益	915	4	919	2	922

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 受注、売上及び受注残の状況

a. 受注高

区 分	平成31年3月期 第1四半期		令和2年3月期 第1四半期		対前年同期 増減	平成31年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	12,483	76.7	9,919	87.7	△2,563	49,418	88.0
ボイラ事業	3,798	23.3	1,387	12.3	△2,410	6,746	12.0
合 計	16,281	100.0	11,306	100.0	△4,974	56,165	100.0

b. 売上高

区 分	平成31年3月期 第1四半期		令和2年3月期 第1四半期		対前年同期 増減	平成31年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	10,658	91.0	9,377	89.4	△1,281	46,351	87.8
ボイラ事業	1,055	9.0	1,113	10.6	57	6,459	12.2
合 計	11,713	100.0	10,490	100.0	△1,223	52,810	100.0

c. 受注残高

区 分	平成31年3月期 第1四半期		令和2年3月期 第1四半期		対前年同期 増減	平成31年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	14,053	59.6	15,838	68.3	1,784	15,296	68.4
ボイラ事業	9,517	40.4	7,335	31.7	△2,181	7,061	31.6
合 計	23,570	100.0	23,173	100.0	△396	22,357	100.0